

第一号議案

大分県立三重総合高等学校久住校の本校化について

大分県立三重総合高等学校久住校を本校とする。

平成三十年六月十二日提出

大分県教育委員会教育長 工藤利明

提案理由

高等学校における本校の規模の基準が「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」の改正により削除されたことや、さらなる少子高齢化が進む中、地方創生の観点から、地域の担い手づくりが求められていること、また、大分県農業人材育成研修施設を平成三十一年度から久住校敷地内に開設することなど、久住校及び県農業教育を取り巻く状況が変化化する中、久住校のさらなる特色化や、県農業振興を担う人材育成を図るため、久住校を平成三十一年度から本校としたいので提出する。

## 大分県立三重総合高等学校久住校の本校化について

高校教育課

### 1 概要

大分県立三重総合高等学校久住校について、平成31年度からの本校化に向け、平成30年第3回定例会に設置条例を上程したい。

### 2 背景

- 「標準法」の改正（平成23年）により、本校化に係る基準が削除され、「1学年1学級」でも本校として設置が可能となった。
- さらなる少子高齢化が進む中、「人を大事にし、人を育てる」、「地域を守り、地域を活性化する」という地方創生の観点から、地域の担い手づくりが求められている。

### 3 本校化について

- 豊かな自然に恵まれた九州で最も標高が高い学校農場や、作物・野菜・草花の栽培から畜産までの多様な農業を展開している久住校の強みを活かし、体験を重視した新たなカリキュラムを導入し、農業単科校としてさらなる特色化を図る。
- 学校敷地内に設置する農業人材育成施設「くじゅうアグリ創生塾」（仮称）を、県下9校の農業系高校生が集まる学び合いの拠点とし、久住校との相乗効果を生み出す。

### 4 今後のスケジュール（案）

6月	第1回教育委員会	本校化について議案審議 〈校名公募（6月中旬～6月下旬）〉
7月	第2回教育委員会	校名候補について協議
8月	第1回教育委員会	校名候補について議案審議
9月	第3回県議会	設置条例の改正案を上程
10月	新設校設置	
平成31年4月1日		新設校開校

## 三重総合高等学校久住校 校名候補について

高校教育課

## 1 久住校の学校構想

久住校は、豊かな自然に恵まれた、九州で最も標高が高い学校農場や、作物・野菜・草花の栽培から畜産までの多様な農業を展開している本県唯一の単独農業高校として、今後も引き続き、将来の農業人材を育成する学校を目指す。

## 2 校名候補決定の考え方

地域の人々から親しまれ、特色・魅力・活力ある学校づくりを行うため、以下の視点を総合的に評価し、県教育委員会で決定する。

- ・公募による投票状況を踏まえた校名であること
- ・新しい学校の学校構想にふさわしい校名であること
- ・響きや文字から夢や希望のある高校生活をイメージできる校名であること
- ・地域の人々から親しまれ、愛される校名であること

(平成26年4月21日 新設校校名候補の考え方より)

## 3 校名候補決定までの流れ

## (1) 公募

上記の視点による校名案を公募する。

○公募期間：平成30年6月23日(土)～平成30年7月5日(金)

○公募方法：ホームページ等による一般公募

(竹田市の中学校及び高校の生徒に応募用紙を配布)

## (2) 校名候補の決定

準備委員会を開催し、校名の候補案を選抜する。

○準備委員会 PTAや同窓会、学校評議員等で構成した準備委員会により  
1～3点選抜し、校名の候補として県教育委員会に推薦する。

○8月教育委員会にて校名候補を決定